

黄色い旗の波運動 町内3地区で交通安全をアピール

平成26年秋の全国交通安全運動が実施され、洞爺湖温泉、虻田の各地区で、黄色い旗を振り交通安全を道行くドライバーに訴えました。

2年前の平成24年に交通事故で死者を出した温泉地区では、9月29日初めて黄色い旗の波運動が行われました。

当日は、桜ヶ丘保育所の園児、自治会関係者、洞爺湖温泉交通安全協会の皆さんなど総勢60人が参加して、交通安全を呼びかけました。

街頭運動の前に行われた開会式では、八木橋副町長が「交通事故にあわない、あわせないという思いを込めて、

皆さんお願いします」と参加者を前にあいさつしました。



ドライバーに交通安全を呼びかける桜ヶ丘保育所の園児たち

10月10日、ななかまどの会（坂井千枝会長）が主催する、秋の



網嶋教育長に寄付の目録を渡す坂井会長(左)

夜長をダンスで楽しむ「ななかまどの夕べ」が洞爺湖文化センターで開催され、約150人の参加者が、社交ダンスや抽選会で盛り上がりました。

開催に先立ち、坂井会長からななかまど文庫とボランティア振興基金に、収益金の一部3万円が、網嶋教育長と原社会福祉協議会副会長にそれぞれ贈られました。

引き続きアーサーマレー高田ダンスセンターの皆さんによるデモンストレーションダンスが行われ、その後、参加者のダンスタイムや抽選会で楽しい一夜を過ごしました。

秋の夜長を楽しいダンスで ななかまどの夕べ開く

洞爺湖の自然を深く知ってもらおうと「泊まって遊ぼう!とうや湖」が、



洞爺湖の生物を探る子どもたち

10月11日泊2日の日程で、洞爺財田自然体験ハウスで行われました。

同体験ハウス開館10周年記念の特別企画として実施されたもので、9人の児童が参加して、自然観察、工作、料理体験など洞爺湖の魅力を十分味わいました。

遊歩道での自然観察やそば打ち体験、ダッチオープンを使ったラタトゥユ作りなどのほか、遊歩道のナイトウォークなど夜ならではのメニューも用意され、参加した子供たちは、洞爺湖の自然を楽しみました。

爺湖の自然を丸ごと体験 泊まって遊ぼう!とうや湖

体育の日にスポーツを満喫 洞爺湖スポーツまつり2014

スポーツの秋を楽しむ洞爺湖スポーツまつり2014（同実行委員会主催）が、10月13日母と子の館周辺と虻田体育館を会場に開かれ、約80人の子どもやお年寄りが参加して体育の日を楽しみました。

当日は、母と子の館周辺では、小、中学生などによる健康マラソンやミニサッカーなどが行われ、虻田体育館では、お年寄り達によるフロアカーリングを実施。

その後、屋外競技をしていた子どもたちが同体育館に合

流し、各チームに分かれて玉入れ大会や長なわとびに取り組みました。



スタートを決める健康マラソンの参加者たち

まちのわだい

